

臨床応用のための全自動MC-FANおよび ディスポ毛細血管モデルチップの開発

研究の内容

我々が開発した毛細血管モデル装置MC-FANにより血液サラサラ・ドロドロ状態が目に見える形で示され、マスコミの力で国民に広く知られるようになった。MC-FANは特に予防医学において重要になると期待される。しかし、これまで測定にかかる手間がMC-FANの普及を妨げてきた。マイクロチャネルアレイ工学チームが立ち上げたベンチャー企業（株）エムシー研究所は測定の自動化に取り組み、全自動MC-FANの開発に成功した。また、機械の中心部である毛細血管モデルチップのディスポ化に成功した。

機械の特徴

ピアシング装置の採用により、採血管の蓋をとらずに血液の測定ができる。

ディスポ毛細血管モデルチップを使用。

毛細血管モデルを流れた血液はチップホルダーの中にとどまり、そのまま廃棄が可能に。



今後の展開

1測定にかかる時間を短縮する。

ディスポチップを低価格化する。

測定の有効性の検証をさらに広範に行う。



独立行政法人
食品総合研究所

代表研究者: 菊池 佑二
所 属: 企画調整部 マイクロチャネルアレイ工学チーム

問合わせ先: 研究交流科 関谷 修三
e-mail: atunisi@nfri.affrc.go.jp